

平成30年度市議会・市民との意見交換会における「質疑・意見・要望」に対する調査結果

当市議会では、市民の皆様と意見を交換する場として、平成30年5月31日に「市議会・市民との意見交換会」を開催しました。その際いただいた質疑・意見・要望のうち、担当する常任委員会で調査した事項の回答をお知らせいたします。

【観光経済常任委員会所管】

番号	会場	質問・意見・要望	常任委員会での調査結果	市の担当課
7	立崎公民館	景観保護のため高森山展望台付近の木の伐採を求める。	<p>○理事者側から以下の説明を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高森山展望台は昭和59年3月に整備され、北側には陸奥湾、西側には八甲田連峰、東側には市街地、南東側には階上岳、名久井岳が眺望できる360°パノラマビューとなっています。しかし、南側のアカマツなどの成長が眺望に影響を及ぼし始めてきたことから、平成29年6月に人が登り作業できる範囲の18本を剪定し、平成30年6月にはクレーン車等を用いて南東方面の樹木30本の剪定を行い、現在は360°見渡せる状況です。 <p>以上の説明を受けるとともに、高森山展望台の現地調査も行いました。</p> <p>○当委員会としては、剪定を行うのは当然のことであるが、主要道路への案内板の表示や、八甲田連峰を背景に撮影できるようなシャッターポイントの設置、展望台のかさ上げなどの全体の環境整備も併せて検討していただきたいと意見集約しました。</p>	観光推進課

【建設常任委員会所管】

番号	会場	質問・意見・要望	常任委員会での調査結果	市の担当課
11	十和田湖公民館	立石・高田間の市道の整備が進んでいない。どのようになっていますか。立石の上側の市道は特に冬期間の見通しが悪く、凍結して危険なため改良を要望する。	<p>○理事者側から以下の説明を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該路線は、総延長約1.6kmと長く、沿線に住家や小屋が建っており、用地買収には多額の補償費がかかることから、全線拡幅は厳しく、接続している市道焼山線の進捗状況を勘案しながら整備する考えであること。 ・市道焼山線の整備については、市所有の紅葉橋が東北電力立石発電所の送水管の上にかかっていることが懸案となっていることから、今後東北電力と橋の架け替えについて協議していく必要があること。 ・東北電力から橋の架け替えが認められた場合は、市道立石・高田線は部分改良で整備する考えであるが、認められない場合は、市道焼山線の計画を立石・高田線に路線変更する考えであること。 ・冬期間の凍結対策として、今年度は起点と終点の坂道に融雪剤を散布する予定であり、抜本的な対策は来年度検討する予定であること。 <p>また、本道の状況について、現地視察をしました。</p> <p>○当委員会としては、本路線と接続している市道焼山線の紅葉橋の架け替えに係る東北電力との協議を最優先に進め、整備の方向性を先に位置づけしてから、市道立石・高田線の整備を早期に進めていただきたいと意見集約しました。</p>	土木課